

平成30年度
宮崎県職員採用試験【大学卒業程度（農業）】

専門論文試験課題

＜課題＞

平成28年の宮崎県の農業産出額は3,562億円（全国第5位）で、前年より138億円（4.0%）増加するなど、増加傾向にあります。

一方で、耕地利用率（耕地面積を100とした場合の作付延べ面積の割合）は年々低下し、平成28年は106.4%と、年間を通して農産物の生産が可能な本県の強みを生かしているとは言えず、本県農業のさらなる発展には土地利用型農業の生産拡大が欠かせません。

ところで、昨今、農業をはじめとした各産業で、人手不足が大きな問題となっており、とりわけ本県では、今後生産年齢人口の急激な減少が予想される中、土地利用型農業のさらなる振興を図るには、労働集約型の生産構造からの脱却が必要です。

そこで、このような、農業を取り巻く情勢や、本県農業の現状を踏まえた上で、本県の土地利用型農業をさらに発展させるための施策について、①担い手や労働力の確保、②生産・販売戦略、③AIなどの先端技術の導入、④農地の基盤整備の4つの項目のうち1つ以上の観点から、あなたの考えを書きなさい。